

# 組合だより

第145号  
6月29日  
2011年

発行所 岡山大学職員組合  
〒700-8530 岡山市北区津島中 2-1-1  
電話 086-252-1111 (代)  
(内線) 7168  
直通・FAX 086-252-4148

岡山大学職員組合ホームページ <http://hb4.seikyoku.ne.jp/home/ODUnion/> メールアドレス ODUnion@mb4.seikyoku.ne.jp

## 三役、新学長へ挨拶 2011.6.8



職員組合では先日、岡山大学の森田新学長が示す方針(森田ビジョン)の内容に対して組合員の皆様の声を届けるべく、大学執行部と懇談を行った。大学側からは森田学長と許理事、組合側からは村上書記長、荻野副委員長、笹倉副委員長、関根副委員長、中富政策委員そして私が出席した。



さらに職員組合として差し迫った課題である、公務員の給与を3年間に渡り10%削減する政府方針に関する質問を行い見解を聞くことができた。残念ながら内容に関してはオフレコ要請があったためここに記すことができないが、今後とも建設的対峙関係の下で労使交渉を継続して行くことに関して、組合と大学執行部の間で合意を得ることが出来た。



懇談の中で森田学長から、これからの岡山大学に関する、

1. 今一度、建学理念を確固たる物とする
2. 国内/国際競争力を更に強化する
3. 大学生の国際性を涵養する
4. 地元が開かれた大学を目指す

という点に関して意見を聞くことが出来た。また森田学長は「岡山大学のアイデンティティ」に強い関心を抱いており、それを内外に示して行くために様々な方策を計画しているとのことであった。職員組合としてはこれらの施策が私たちの労働環境の一層の改善に繋がるのであれば大学側と協力し、そうでない場合は積極的に意見する必要があると考える。

懇談はやや緊張する場面もいくつかあったものの、全体的には和やかな雰囲気の中で行われた。森田学長は立場の違いを越えて様々な意見を聞くことを重視する姿勢を示し、職員組合としても組合員の皆様の意見を今まで以上に大学側に伝える必要があると、今後の交渉に対する決意を新たにした。(執行委員長 山川純次)



## 全大教中国四国地区学習会報告

笹倉万里子

2011年5月28日に全大教中国四国地区学習会、29日に単組代表者会議が岡山で行われました。私は28日の学習会に参加してきましたので報告します。



今回は静岡大学の佐藤誠二氏を講師にお招きして、「国立大学の現状と問題点～財政の視点から～」という題で、大学の財務諸表を読めるようになるう!という主旨の学習会でした。結論から言うと、私はまだ岡山大学の財務諸表を読めるようにはなっておりませんが、学ぶことの多い学習会でした。

各国立大学の財務諸表は、一般に公開することと規定されており、岡山大学でもホームページ→大学情報→法定開示情報「財務に関する情報」のところから誰でも見ることができます。ここには平成16年度分からの財務諸表などがおいてあります。財務諸表は岡大の財政を示す資料ですが、これをぱっと見ただけでは、岡大の財政が安泰なのかそうでないのかということはずぐにはわかりません。それがわかるようになったらなあ、と思ったのですが、今回の学習会に出て、それはそう簡単ではない、ということが感じられました。

今回の学習会で知った、もっとも有意義なことは、大学の財政というのは企業とは違う処理をされているということを知ったことでした。もっとも顕著なのは建物の処理だそうです。建物は企業ならば減価償却の対象だけれど、大学だとそうではない、というお話でした。つまり、大学の財政は一般企業のものとも違うし、国など公的機関のものとも違う特殊な形態になっていて、大学の財政を理解している人間はほとんどいない、いても非常に少数である、ということでした。

実は、この原稿でもっと細かい違いをきちんと説明しようと思ったのですが、正確な話をしようとしたら、わけがわからなくなってしまいました。もっと勉強しないとイケないようです。

私は佐藤先生の財政の話をお聞きするのは二度目だったのですが、参加者の中には三度目、四度目の方もいらっしゃる、参加する回数が増えれば増える程理解が深まる、との評判でした。私も次の機会があれば是非参加してもっと理解を深めたいと思っています。

## ～ 投稿コーナー ～

## 三朝の地球研より | 地球研の沿革

“何故、三朝温泉に地球科学の研究所があるのですか?” 学会などで若い学生から聞かれる質

問である。岡山大学の構成員も同様の疑問を持っておられると思う。地球物質科学研究センター(以下、地球研)は岡山市の北方約80km、鳥取県東伯郡三朝町山田に所在する。遠隔地にある地球研を岡山大構成員に知っていただくために“組合だより”の紙上をお借りさせていただきました。第1回目の今回はその沿革である。

岡山大学のホームページから地球研のホームページに入ると、その下の方に“概要2007”がある。誰でもダウンロードできるが、今回の内容はほとんどそこからの引用である。

1939年7月28日、三朝村(当時)から敷地15,949m<sup>2</sup>、建物270m<sup>2</sup>の寄贈を受けて岡山医科大学三朝温泉療養所が発足し、温泉医学研究と内科・外科・理学診療科を開始した。1943年には岡山医科大学放射能泉研究所に改組されて

いる。放射能泉として名高い三朝温泉に設立された温泉療養研究施設に転機が訪れる。1947年、温泉の学理を研究する温泉化学部門が設置されたのである。これが地球研のそもそもの起源であり冒頭の質問への回答である。1949年岡山大学放射能泉研究所として附置研究所に転換した。1954年には温泉研究所と改称し、温泉地質学部門が設置され温泉化学部門と併せて地学系2部門となった。今でも年配の方から、“温研”と呼ばれることがある。



その後の展開は省略するが、1985年に大きな転機(というよりは“危機”)が来た。温泉研究所が解体され医学系と地学系が分離し、地学系は地球内部研究センターとして地球科学の研究機関として発足することになった。発足当初の教員数は9名であった。これが現在の地球研の実質的なスタートである。岡山大学40年史には、この時の模様が松井義人教授(現名誉教授)により活写されている。“部局存亡をかけた戦火の中で誕生”した感がある。岡山大学40年史は図書館等においてあるはずなので、岡山大学構成員には一読していただきたい。

その後、固体地球研究センター、地球物質科学研究センターと名称を変えながら現在に至っている。2011年2月現在の教員数は15名である。この間、英語名称は“Institute for Study of the Earth Interior (ISEI)”で一貫している。

三朝キャンパスには岡山大学病院三朝医療センターもある。その起源は温泉研究所医学系である。三朝界隈での通称は“大学病院”。キャンパス前のバス停も“大学病院”である。キャンパス正門前の病棟屋上の時計は植木等氏寄贈によるものである。医療センターには、病気の際の受診の他、職員健康診断、留学生の健康相談など日々お世話になっている。(米田)

## 岡山大学へようこそ！！

病院看護部各位、看護部自治会のみなさまのご理解とご協力により、さる4月8日、看護部自治会オリエンテーションの冒頭で医学部職員組合の紹介を行いました。毎年、快く時間を設けさせて頂き本当に感謝しております。



紹介挨拶は、今年も岡山大学職員組合の山川委員長にお願いし、新学期のお忙しい中にもかかわらず、心のこもった歓迎および紹介の挨拶を行って頂きました。また、岡山県医労連のスタッフのみなさんの協力も頂き、多くの方に支えられての組合紹介となりました。



「組合に入るといろいろな職場の人と交流でき、様々な情報を得られます。」「組合は色々なことに取り組んでいます。一緒にやりましょう。」と訴えました。医学部単組で作ったメリット集、連合体のパンフレット、ろうきんや教職員共済の資料も配布し宣伝しました。その場での加入申し込みは少なかったのですが、「タイミングを見て組合のメリットを再度紹介して見ては」との声もいただき、大いに参考にしてこれからの拡大活動に取り組んでいきたいと思えます。(大杉)

### 5・3のつどい報告

5月3日「2011年 第33回 日本国憲法施行65周年記念5・3憲法記念日岡山県民のつどい『輝け日本国憲法！集会』」が三木記念ホールにて開催されました。主催者代表の山口和秀氏の挨拶の後、岡山大学職員組合合唱団と岡山合唱団による合唱がありました。当職員組合合唱

団は「浜辺の歌」「花の街」を歌い、その後岡山合唱団と合同で「ソレアード～子どもたちが生まれる時～」を歌いました。会場から暖かい拍手をたくさん頂きました。

岡山合唱団による合唱、そして平和の詩の朗読の後、松元ヒロさんのライブがありました。ヒロさんはいつものように、笑いを交えながら平和の話をして下さいました。ヒロさんは、今回は「安保クン」になって、日米安全保障条約成立の背景について教えて下さいました。日米安保条約は1951年、サンフランシスコ平和条約と同じ日に締結されましたが、その中に「日本が望むなら、別の国の軍隊が駐留できる」という旨の一文が盛り込んであり、それが今日の在日米軍基地につながっているということが分かりました。また、今の日米安保条約は、日米のどちらかが「やめよう」と言えば終わるはずのものであるということも分かりました。ヒロさんは原子力発電についても触れられました。「原発はトイレのないマンション」という言葉は今の福島県での原発事故について如実に物語っていると思います。「原発や米軍基地という問題によって社会は二分され、このことが人を不幸にしている」という言葉も忘れられません。

(O)

小畑先生は、民主党の民主主義論を分析し、それを日本国憲法の視点から評価されました。民主党は、自民党のそれを、①田中角栄型「談合型民主主義」または②小泉純一郎型「自由競争型民主主義」と呼びます。それに対し、自らは、脱官僚・政治主導の③「マニフェスト型民主主義」、④「地域主権型民主主義」を称します。しかし③は党首に対する「白紙委任型民主主義」に、④は国の責任を否定した、地域の「自己責任型民主主義」に転化します。というのもそれらは、憲法によって基本的人権を守ることを義務づけられた政府がみずからの義務と責任を緩和することに最大の狙いがあったからだとされます。そして、この問題が今回の震災対応において露呈していると述べられました。いま日本国が抱える課題が明確となった講演だったと感じました。(N)



### 岡山大学職員組合 加入申込書 (組合役員または組合事務所宛に提出してください)

岡山大学職員組合に加入します。同時に組合費の口座引き落としに同意します。

氏名: \_\_\_\_\_ 印 \_\_\_\_\_ 性別: 男・女 所属: \_\_\_\_\_  
(自筆の場合は押印は不要です)

連絡先(内線・Eメールなど) \_\_\_\_\_





## ★お知らせ★

文部科学省[東日本大震災 子どもの学び支援  
ポータルサイト(<http://manabishien.mext.go.jp/>)]

文部科学省は今回の大震災に対応し、被災児童や生徒が必要な支援を受けやすくするためのポータルサイトを設置している。略称は「文科省・学び支援ポータルサイト」、推進のための twitter アカウントは@manabishien である。

すでに多数の支援要請と支援提案が登録されており、またその多くが結びつき、支援が実現されている。このサイトに関する情報は Twitter を使ってリアルタイムに発信されている。支援に興味のある方はフォローすることを強くおすすめする。

今回の震災は甚大な被害をもたらしているが、このように 21 世紀になって登場した新しい情報インフラストラクチャーを使って迅速かつきめ細かに復興支援が行われていることは明るい希望である。

子供たちは将来、この地域の復興を担う主役である。可能な限りの支援が実現することを願っている。



## キャンペーン中です



岡山大学職員組合では3月より7月までの5ヶ月間、新規加入キャンペーンをしています。具体的内容は組合特製のクリアファイル(下記参照)と5,000円の図書カードです。図書カードは、第1回目組合費の自動引き落とし手続き完了後にお渡しします。

まだ未加入の方で、組合に興味をお持ちの方はお知り合いの組合員または組合事務所までご連絡ください。組合費に関する規定は各単組によって異なりますが、本組合は比較的lowめに設定されています。また非常勤職員の方で短時間勤務職員の方の組合費は一律500円となっています。この機会に是非組合加入をご検討下さい。

## 単組だより

～教育学部単組より～  
附属校園対抗ソフトボール大会を開催

教育学部単組では、3月22日(火)16:00より教育学部附属小学校のグラウンドで、学部チーム13名と附属小学校チームによる「附属校園対抗ソフトボール大会」を開催しました。

平均年齢40代の学部チームと、かたや平均年齢30代前半と思しき附小チームとでは、勝負の結果は目に見えているように思えましたが、5回20の好ゲームで学部チームは惜しくも勝利をのがしました。

学部チームの黒崎キャプテンは、「熱戦が繰り広げられた。」とのコメントを残して、ロッカールームへ足早に去りました。

学部チームには、次回のリベンジが期待されるのですが、28年ぶりにソフトボールをしたという書記長などは、翌日から筋肉痛に悩まされる体たらく。

次回開催は、大いに危ぶまれております。(K)



クリアファイルデザイン「空の詩Ⅲ2008」

泉谷淑夫氏

テーマ“風を読む”



雲は変化(刻々と変化する情勢など) 気球は組合、鳥は個人を表わしている。

風を読んで活動する。目には見えないものを感じて欲しいと思います。

## あなたも組合の仲間になりませんか？

あなたの声を大学運営に、労働条件改善に反映させてみませんか？

私たちは、あなたの参加を期待しています。

## \*\* 無料法律相談『ユニオン』をご利用ください \*\*

セクハラ、アカハラなどの労働環境問題、あるいは個人的な問題でも結構です。内定取り消しの相談にも応じています。プライバシーを厳守するために、組合執行部とは別組織である人権部が相談を受け付けています。法的な相談をしたい組合員のために顧問弁護士を置き、希望者には、最初の弁護士相談を無料で受けられる「ユニオン」を設けています。法律相談は、随時、弁護士事務所で行います。相談を希望される方は、人権部までお申し込みください。

連絡先：竹内真理 法学部准教授 内線7472

新村容子 文学部教授

内線7411